

愛知県医師連盟ニュース

発行所
愛知県医師連盟
〒460-0008
名古屋市中区栄4の14の28
愛知県医師会館内
TEL052(251)2500

愛知県医師連盟の医政活動について

本年7月執行予定の第24回参議院議員通常選挙に組織内候補として推薦されている自見はなこ先生が、愛知県医師会館などにおいて開催した講演会の様子や、当連盟の柵木委員長が発起人となって本年3月2日(水)、キャッスルプラザホテルで開催した政治資金パーティー「今枝宗一郎君を囲む会」の様子を中心に紹介いたします。また、本年4月の第1回医師連盟執行委員会で本年度予算が承認されましたのでご報告いたします。



ご挨拶

愛知県医師連盟
委員長 柵木 充明

(28.2.21自見はなこ先生を応援する会でのご挨拶の内容)

愛知県医師連盟の柵木です。きょうは「自見はなこ先生を応援する名古屋の会」ということで、小児科という分科会で医師連盟を立ち上げて自見はなこ先生を応援するというのは愛知県では初めてであろうと思います。県下には色々な分科会がありますが、こうした試みを各分科会に広げていきたいと思っています。

何と申しましても3年に1度の参議院議員通常選挙、これは私ども医師連盟にありましても非常に大きなイベントであろうと思っておりますし、やはり自見はなこ先生には大量の票を付けて国会に出て行って頂きたいと心より思っています。

私もこの参議院議員選挙にかかわりだしてからすでに5回目くらいになります。この間、色々な選挙がございましたが、今回、日本医師連盟が擁立し推薦した自見先生は、日本医師連盟としては最強の候補(予定)者であることは間違ひございません。

日本医師連盟の組織候補として自見先生をノミネートすることが決まったのが一昨年の11月25日、その日は私も日本医師連盟の執行委員として、日本医師会館に行っておりました。自見はなこ先生の経歴が紹介されたとき、一瞬、日本医師会館の講堂がどよめきに包まれたということがございました。確かに非の打ち所がない候補(予定)者であるというように、皆さんがあなぞうに思われたのでしょうか。

従いまして、その場で何の議論もなく自見先生を組織候補として応援しようということが決まったということでございます。

3年前になりますが、その時は羽生田たかし先生でございました。羽生田先生は私と同年齢です。今でもそうですが、3年前であったとしても、これから将来にわたって日本医師連盟の代表として活躍するには、やや臺がたっていると感じますが、中には「ちょっと…」といったご意見もございました。その点は、自見先生は人格、見識、将来性などどこをとっても非の打ち所がない方です。お父様は、所属政党が(自見先生とは)違い、必ずしも医師会、医師連盟の代表ではございませんでした。しかし大臣まで勤められた立派な政治家でした。自見先生はその秘書もおやりになった経験もございます。こういった点を見ても、自見先生が獲得する票といいますのは、医師会の総力とも言えます。選挙戦に入った際には、知恵を絞って頂き、票につなげたいと考えています。

今度の選挙でどのくらいの得票が得られるかは、私にとっても楽しみです。前回の羽生田先生の選挙の時は、全国で約25万票の得票がありました。自民党公認の比例候補の中では、上位から6位でした。愛知県がどのくらいかと言いますと、9,822票で、もう少しで1万票に手が届くところでした。1万票を得票するということは、かつて医師連盟が分裂した時期もあり、或いは県によっては「日医連推薦の候補者を推さない」といったこともございました。そのような中で羽生田先生が25万票を得たということは、ある意味、基礎票的なところがございます。そういう意味で、愛知県は医師会・医師連盟推薦の候補者に対する基礎票が1万票と見込んでいます。

今回、日本医師連盟といたしましても30万票、愛知県として1万5,000票の得票を目指しております。日本医師連盟といたしましても、小児科の先生が出馬するということは、今回が初めてのことになります。

選挙制度の内、現在の参議院議員選挙で採用している非拘束名簿比例代表制というのを皆さんご存知であろうと思いますが、もう一度だけお話ししたいと思います。投票の方法には2種類あります。自民党という政党名を書いてもよく、また、個人名を書いても有効となります。ただ、政党名を書いた場合、その政党から出馬している全員の得票になることから、個人の票になる部分は少なくなってしまいます。ですから、全国区で、自見はなこ先生を応援する場合は、その個人名を書くということです。かつての拘束名簿比例代表制の時には、自民党本部が候補者別に順位を決めました。平成13年の第19回参議院選挙から非拘束名簿比例代表制が導入となり、個人名を書くことにより個人票につながるようになりました。まだこの制度をよく理解していない人がいますので、投票する場合には是非、自見はなこという名前を書いていただくよう選挙制度を説明して頂きたいと思います。

いまはサポーター名簿の収集、或いはこの会館の中にも自見はなこ先生のポスターが貼ってありますが、医師連盟の活動を通して色々なことを行っています。自見はなこという名前は、非常に覚えやすく、いい名前だと思っておりますが、一般の人まで名前が浸透しているかと申しますと、まだまだご存知ではない人が多いと思います。ですから、名前を知

ってもらうことから始めなければならないと考えております。

ただ懸念材料の1つは、全国的に株が安く、円が高いということです。

今の安倍内閣は、基本的には株価連動内閣といった表現があります。安倍総理は景気を見るときにGDPや雇用統計などを言っておりますが、分かりやすいという点では、為替レートとか株価の方だと思います。安倍総理も政権を賭けて色々な対策をおやりになると思います。このままドンドンと下がっていくということはない、私個人としては思っております。しかし、それが続くということになると、消費税をそのまま上げる、増税することができるのかといった議論にもなってまいります。今のような自民党の1強に陰りが出てくるかもしれない状況にあることも否定できません。

選挙は、予想では7月10日が有力と言われています。或いは17日になるかもしれませんのがこのいずれかに選挙が予定されています。これ以外ということはありませんので、あと4か月余りとなりました。仮に自民党をめぐる情勢がどうなろうとも我々としては何としても、自見はなこさんにしっかりと票を付けて国会に送り出すことを今後の目標として活動をしていきたいと思っております。

色々な経験を積み重ねてまいりましたので、今回は愛知県で1万5,000票を必ず確保するという意気のもとに頑張っていただきたいと思います。

本日は、日曜日の非常にお忙しい中を多くの小児科の先生方が沢山お集まりいただき、本当にありがとうございました。

今後の更なるご活躍をご祈念申し上げて、私からの御挨拶とさせていただきます。

先生方、本当にありがとうございました。



ご挨拶

日本医師連盟
参与 自見はなこ

(28.2.21自見はなこ先生を応援する会でのご挨拶の要旨)

皆様こんにちわ。本日は日本小児科医連盟愛知県支部と愛知県医師連盟の皆様に、この様に盛大な自見はなこを応援する会を開催して頂きました、ここに心からお礼を申し上げます。誠に有難うございます。

私は一昨年の11月25日、日本医師連盟執行委員会におきまして今年（平成28年）7月の参議院選挙の組織内候補として推薦を頂きました。いまだかつて私のような女性の勤務医で、加えていうなれば小児科医でこの立場を頂いたのは初めてのことです。

今までの医師連盟の候補者は、日本医師会、医師連盟の常任理事歴が大変長い開業医の大ベテランの先生ばかりでございました。その中で初めてのチャレンジということで愛知県医師連盟からは柵木先生も大変なエールを送ってくださいまして全会一致で決定して頂きました。丁度1年前の1月、日本医師連盟の参与という立場を頂き、月曜日と火曜日に外来をし、火曜日の午後に日本医師会の常任理事会にオブザーバーとして参加をさせて頂きました。そこで医療界全般の代表選手でございますので、日本医師会でどのような議論がされているのか、例えばマイナンバー制度はどうになっていくのか、医療事故調はどう運用していくのか、専門医制度はどうなるのか、診療報酬はどうなっていくのか、など様々な課題を常任理事の先生方が議論されている場を間近で拝見し、それ以外の時間、水、木、金、土、日を利用して全国の医療機関を行脚させて頂きました。全国には954の郡市区の医師会がございます。昨年1年間をかけて700以上の地区医師会長の先生方にお目にかかる機会を頂戴することが出来ました。そして私が当初抱えていた「果たして私に務まるだろうか」といった不安は打ち消されております。

私は、去年1年間を通して感じたことは、改めて国民皆保険の重要性でした。去年の前半

は都市部を中心に、そして後半は地方を回らせて頂きました。たった3人、或いは5人で、小児科医もいない地区もございました。そこで同じように国民皆保険の名のもとに医療が提供できている、或いは医療を受けて頂ける、この国民皆保険、ユニバーサルサービスの大切さ、尊さを肌で感じた1年間でございました。

私自身はユニバーサルサービスの大切さを認識する中で、同時に感じたことは人口減少の問題でございます。去年の後半、地方を回り始めた時、行く先々で「うちの地区は高齢化が進んでいます。自分の後継者として期待している息子も東京から戻ってきません。スタッフも患者さまも高齢化している。その中で、自分はこの地域の医療を支えていく」とおっしゃっていました。

私が秋田に行ったときに伺った話ですが、胸を本当にえぐられるような気持でした。お話は男性の先生で「僕自身はこの地域医療を支えていく。だけれども、自分を看取る人はこの地域にはいないと思う」とおっしゃっていました。

石川県に行った際、会員の先生から「石川県では、北陸3県合わせて4つの医学部があるが、周産期を支える医者がいない」とか、「来年4月、新入局員は4つの医学部を合わせてたった3人しか産婦人科に入りません。これでどうやってこの地域の周産期を支えればいいのでしょうか」と言われました。人口減少の問題、医師の偏在の問題、これはマスコミが訴えているよりはるかに切実な現状であることを感じました。

医療を支えているのは人であり、医療がなければ人は住めない、ということです。その中で小児科医としてどういった役目を果たしていくべきか、真剣に考える日々でございます。

私は日本医師連盟で組織内候補に選んで頂きました時に「正しいと思うことを主張するものは強くあらねばならない」と申し上げました。これは何かと申しますと、永田町という世界では正しいと思うこと、私たち医療従事者が思う正しいこと、これは全く通りません。私は、政治家の父、自見庄三郎のカバン持ちを約4年間している中で、医療従事者として幾度も歯がゆい思いをしました。それは「どうしてまだワクチンが整備されないので、どうしてまだ待機児童の問題を国が本気で取り組んでくれないので、どうしてまだ小児慢性の子や障害を持ったお子さんに対する手当

が国の中ではこんなに手薄なのか」などと、様々なことを色々な現場で感じていました。その中で「私たち医療従事者が正しいと思うことは必ずしも通らない、力のあるものが言うことしか通らない」という現状を目の当たりにしました。ただ、それは民主主義の国家では、ある意味正しいことかもしれません。

医療従事者として私たちが思う正しいこと、これを通すのには私たち一人ひとりが意識を高く持っていく必要があります。永田町の中では一票一票、いかに一人ひとりの多くの気持ちを頂いたか、ということで測られるという現実がございます。

私が「正しいことを主張する者は、強くあらねばならない」ということを申し上げました。それは小児科医としても同じでございます。子どもを守りたい、子供を育てているお父さん、お母さんを守りたい、社会を守りたい、これは私たち小児科医の誰もが願うことでございます。これを守っていくには、私たち一人ひとりが強くあらねばなりません。そして、今こそ、それが最大のチャンスと思っております。

丁度3年前の羽生田先生が当選した参議院選挙の時になりますが、父の不出馬を聞き、これで晴れて自見家で30年続いた政治家とのかかわりも終わり、私も小児科医として勤務をしていきたい、と思うようになりました。

ところが幾度も皆様にこの話をしていますが、私はある出来事がきっかけで今回この公募に応募しております。それは私が本当に偶然に出会った出来事で、これがなければ私自身はこの場に立っていることはなかったと思います。それは、私が虎の門病院の小児科で当直をしていたある日の出来事でございました。

それは国際電話による1件の電話相談でした。ナースから「先生、英語で何を言っているのかわからぬので代わってください」と言われて、電話が回ってきました。お話を伺ってみましたがところ、電話の主はアメリカのハワイ在住の女性で、その内容とは「その女性には12~3才のお嬢様がおり、一人で東京に1週間のホームステイにきてる。言葉の分からぬ中で、お腹が痛くなつて泣いて電話をしてきた。娘のことが心配だ。どうしてあげたらいいんだろうか」といったものでした。幸いにもお嬢様の症状というのが、軽いお腹の風邪だと思われましたので、水分摂取の方法であるとか次に病院にかかるタイミング

などごく当たり前の話をしてあげたのです。ところがその電話相談が終わった時に、お母さまは電話の向こう側でおいおいと本当に大きな声をあげて号泣されました。私はお母さまの様子に大変驚き、何か言ってはいけないことをお伝えしてしまったのかと思い、「どうされましたか」とお伺いした時に、そのお母さまが言った一言が、大変複雑な思いとともに私の胸にのしかかってまいりました。

その一言というのは、「私の国の、私が入っている医療保険では、私は直接医者と話す事すら出来ない。日本はなんていい国なんだ」と泣きながら話されました。おそらくはお嬢様のことが大変心配だったが軽症だったということで心配から解放された安堵感だったかもしれません。ただその時に私は、お母様の泣く声が耳から離れませんでした。そして当たり前のように勤務医として医療が提供できると思い込んでいた自分を恥ずかしく思いました。国民皆保険がない国では、こんなにも悲しく、お母様が泣かなければいけないのか、そのことに愕然といたしました。小児科で例がやや極端かとは思いますが、例えば、喘息発作のお子さんが目の前に2人いて、1人には吸入が出来て、1人は吸入が出来ない、それが仮にそのご両親の経済格差によって私たち医療従事者がそういうことを選ばなくてはいけない時代が現実のものになってしまったら、私は小児科医という仕事を続ける事が出来るのだろうかと思いました。

私自身の答えは自明でございまして、仮にそのような時代が日本に現実のものとなつたら、私は良心の呵責でおそらく、その事実、現実を見ることが出来ず、小児科医という仕事を続けていくことが出来なくなつてしまふであろう、日本をそんな国には決してならせてはいけないと強く思い、一昨年の秋になりますが公募に応募した次第です。

私自身は色々な政治の世界をたまたま見せていただく立場で、この国民皆保険というものは、決して当たり前のものではないんだ、と痛感するとともに、医療従事者はよくわかっていないければいけないのではないかと思います。特に自分の勤務医の反省を含めていうなれば、当たり前のように医療が提供できているということは決して当たり前のことではありません。私の大好きな星の王子様の「大切なものは目に見えない、守っていかなければ

「いけない」と言ったこのセリフ、本当に思います。崩れ去ってしまってはじめてわかることばかりでございます。そして私たち小児科医は次の世代に残していくたいものは何なのか、それを自分たちの心に照らし合わせてよく考えていく必要があると思っております。残念ながら人間は生をもって生まれた以上、ここにいる誰もが死を迎える。そして私たちが死ぬときに残していくけるものは何なのか。それは日々、先生方が守ってくださっている患者様のお命と家族と社会そのものと思います。そして守ってくださっている社会そのものしか、私たちはこの世に残していくのではないかと思います。

去年1年間、全国行脚する中で、全国の小児科の先生にお目にかかりました。私として一番嬉しいなと思うことは「子供達のために頑張って」と言って下さる先生たちのお言葉でございます。

私たち小児科医は、子供たちのためであればどれだけでも頑張れます。高齢化は本来喜ばしいものです。戦後直後の日本人の平均寿命は50台でしたが、国民皆保険の導入、栄養状態の改善、母子保険の事業の拡大、そういうものを合わせて、戦後70年をかけて平均寿命も80まで伸びています。これは素晴らしいことです。問題は少子化でございます。高齢者の医療、社会保障費のお金は70兆円あるそうですが、子供に対する保健医・福祉のお金は5兆円しかないそうで、あまりにも日本の政府として、国として、小児医療、子育て支援にかける金額が少ないというのが現実でございます。現在の日本、残念ながら格差が進行しております。DVの問題、子どもの心の問題、給食費を払えないお母さんの問題、シングルマザーから仕事を休んだら自分はクビになるしかないんすと、何度も泣かれた先生もおられると思います。そういう中で、日本の国に生まれた子供一人ひとりが支えであるはずなのに、一人ひとりのお父さま、お母さまが苦しみながら子育てをしていかなければいけない日本の現状は、早急に変えていく必要があるのだと思っております。

私は安倍総理が昨年訴えてくださいました新3本の矢の2本目に、子ども・子育て支援を訴えてくださったのは大変ありがたいことだと思います。現在の自民党にも公明党にも1人も小児科医の議員がおりません。

私は今回、医療界の代表選手、医療、介護、福祉の代表選手として日本医師会、日本医師連盟をはじめ各地区医師会・医師連盟の推薦を受けております。去年1年間を通して感じた1番の課題は人口減少でございます。その中で小児科医しかなしえない役目、これが私の使命、天命と思っております。この内で私は、是非、予防医療を学校教育に受け入れていきたい、健康教育を子どもたちに教えてあげたいと考えております。子供たちが健やかな心と体を、真ん中において育てるよう預けたいと、この国の人々も一人ひとりが平等に扱われるようになって欲しいと思っております。

格差、貧困、これを次の世代に連鎖させではないかと思っております。

現在多くのお子様が障害を抱え、そしてお母さま、お父さまが、障害を抱えたお子様が、人工呼吸器の小型化により在宅へと移行しております。その在宅、訪問看護、訪問診療を含めて、まだまだ手薄な保障しかされておりません。

多くの先生が持ち出しのような形で、そして障害を抱えたお子様の医療のケアをしてくださっています。これは本来、国が面倒を見ていくべきものだと思っております。

身体という意味では確かに大変ではございますが、むしろこれは何にも代えがたい、ありがたい機会だと思っております。全国の実情を先生方から教えていただける何にも代えがたい非常にいい機会だと思っております。そしてこれを大きな力として、公のために返していくのが私の使命であると思っております。私にとりまして小児科医が初めて全国区に立つということの意味を日に日に喜びと感じており、苦しみと感じているところは全くございません。

本日は、愛知県の小児科医の先生が殆どということから、福祉とか介護の話をしておりませんが、私自身は小児科医として最大限この国のお役立ちたいと思っております。

私は日本を底支え出来るように最大限の下働きをしたいと思っております。

本日は日曜日にもかかわらず、このような貴重な機会を頂戴いたしましたことを心から感謝を申し上げます。これを機会に、ご指導を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

今枝宗一郎君を囲む会の御礼



お礼の挨拶

衆議院議員
今枝宗一郎

この度は、3月2日 キャッスルプラザにおいて鴻池祥肇 元参議院予算委員会委員長をお迎えし「今枝宗一郎君を囲む会」政経セミナーを開催したところ、多くの関係者のご協力のもとに約600名の皆様にご参加をいただき、盛大に開催することができました。

特に医師会をはじめとする厚生関係者の皆様には絶大なるご支援、ご協力を頂きましたことを心から感謝を申し上げます。

参加者の皆様から「新人議員だった今枝宗一郎も2回の当選を経て3年目となり、国政の場で大きくはばたいていることが実感できる会だった」とお言葉を頂戴致しました。

現在私があるのも、これまで私を暖かく、そして時に厳しく御指導をし、育ててくれた皆様のお陰であると改めて感謝しております。本当にありがとうございます。

これから夏には参議院議員選挙が予定されており、国会ではTPPに関する審議が本格化されるなど活発な議論がなされていきますが、私も皆様からの力強いご声援と大きな期待を胸にしっかりと受け止めて国会の場にて精力的に活動を行い、より良い医療制度の拡充と改革に努力していきたいと思います。

今後ともご支援ご指導いただきますよう心からお願い申し上げます。

今枝宗一郎君を囲む会の様子

3月2日キャッスルプラザにおきまして開催された「今枝宗一郎君を囲む会」には、愛知県知事をはじめ各界から多くの来賓の方々の参加を頂きました。

政経セミナー開会の冒頭には発起人を代表して柵木愛知県医師連盟委員長が挨拶をされました。会場は、約600人の参加者で超満員でした。



発起人挨拶をする愛医連の柵木委員長



来賓挨拶をする名古屋市医師連盟の杉田委員長



政経セミナーで講演した鴻池参議院議員



来賓挨拶をする大村愛知県知事



会場内は超満員の大盛況

自見はなこ先生を応援する会 (28.2.21愛知県医師会館9階大講堂)

「自見はなこ先生を応援する会」は、愛知県内の小児科の先生方をはじめ名古屋市内を中心とした先生方102名にご出席を頂き、会場はほぼ満席になりました。その様子は下記の通りです。



開催にあたり挨拶をする愛医連の柵木委員長



来賓挨拶をする日本小児科医連の桑原委員長



講演をする自見はなこ先生



会場内の様子

自見先生を応援する会に参加された先生方



「自見はなこ」氏を励ます会 (28.3.11豊橋商工会議所)

豊橋市医師会を中心とした東三河医師連合会の先生方約50名のご出席を頂きました。
その様子は下記の通りです。



挨拶をする愛医連役員の市川先生



講演をする自見はなこ先生



応援演説に駆け付けた今枝代議士



ご挨拶をする豊川市医師連盟の大石委員長



会場内の様子



若い支援者も多くなってきました。

自見はなこを励ます健康の集い (28.3.12愛知県医師会館 9階大講堂)

この会には、代議士、愛知県議会議員、名古屋市議会議員ら公職者をはじめ、その議員の支援者など約300名のご参加を頂き、会場内は超満員でした。



開催にあたり挨拶をする愛医連の柵木委員長



御挨拶をする直江県議



応援に駆け付けた今枝代議士



講演をする自見はなこ先生



応援に駆け付けた工藤代議士



デリカフーズ株式会社の丹羽社長



代議士、愛知県議、名古屋市議ら



会場内の様子 1



会場内の様子 2



会場内の様子 3

自民党演説会のご案内

平成28年10月11日午後1時からJR駒込駅前において、自由民主党の演説会が開催され、弁士として
横倉義武日医連委員長・日本医師会会長
自見はなこ日医連参与、自民党参議院比例区
(全国区)支部長、小児科専門医・認定内科医
が演説されます。



自民党 演説会

この国の医療・介護・福祉を守る!!

参議院選挙の投票方法

投票方法をご紹介します。
投票場に行きますと、投票用紙を2枚くれます。

1枚目のものは、

愛知県選挙区から立候補した候補者を投票するもので、その候補者名を書いて投票してください。

2枚目のものは比例代表候補のものです。

投票場の係員から「政党名か、候補者名をお書きください」などと説明されますが、投票用紙には

候補者名

を書いて投票してください。

投票方法は、ご家族、知人などにも教えてあげてください。

自見はなこ先生の室内用ポスター

医師会、病院、医院は勿論のこと、自宅でも室内ならどこでも掲示できます。

必要がある地区、先生は、お気軽に愛知県医師連盟までご連絡下さい。

電話 052-251-2500

日本医師連盟推薦

笑顔の花を咲かせたい。

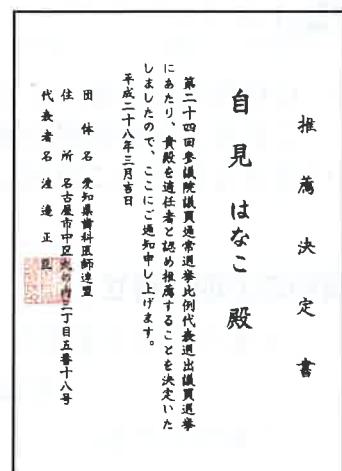
Hope , Dream , Future

医療・介護・福祉でまちづくり



愛知県歯科医師連盟が推薦決定

愛知県歯科医師連盟は、第24回参議院議員通常選挙の比例候補者に、自見はなこ日医連参与を推薦決定し、渡邊正臣会長から推薦決定書が交付されました。



自見はなこ後援会資料のご案内!

ポスター

- ◎ 室内用、室外用とも揃えています。
- ◎ 大きさは、A3サイズのものと、A1サイズのものがあります。

リーフレット



- ◎ 自見先生の政策やプロフィールなどが書かれた大変見やすい資料です。

サポーター名簿

| 日本医師連盟・自見はなこ サポーター名簿 | |
|-------------------------|-----------------|
| 所属団体 又は企業名 | ご住所 |
| 紹介者名 | お電話・FAX・メールアドレス |

お預かり致しました個人情報は、日本医師連盟と自見はなこさんの個人情報に限り使用させて頂きます。
ご記入頂いた個人情報は、日本医師連盟と自見はなこさんとの連絡手段としてお預かり致します。

| ご 氏 名 | ご 住 所 | お電話・メールアドレス |
|-------|------------|------------------------------|
| 連盟 太郎 | 〒○○○○-○○○○ | 電話 (0○) ○○○○-○○○○ メールアドレス |
| 1 | 〒○○○○ | 電話 (0○) ○○○○-○○○○ メールアドレス |
| 2 | 〒○○○○ | 電話 (0○) ○○○○-○○○○ メールアドレス |
| 3 | 〒○○○○ | 電話 (0○) ○○○○-○○○○ メールアドレス |
| 4 | 〒○○○○ | 電話 (0○) ○○○○-○○○○ メールアドレス |
| 5 | 〒○○○○ | 電話 (0○) ○○○○-○○○○ メールアドレス |

【日本医師連盟】 〒113-0021 東京都文京区木場3-2-26-16
自見はなこ後援会 電話03-3942-6457

返信専用
FAX 03-3942-6458

専用紙が不足した場合、お手数ですが手紙をコピーしてご利用下さい。

- ◎ 自見先生を応援するサポーターを募集しています。

ご家族、医療機関の職員の皆様、知人などに、自見先生の政策や日本の医療・介護に関する現状をご説明し、ご理解を頂き、サポーターの輪を広げてください。

資料のお取り寄せ

上記の資料が必要な先生、地区医師連盟にありますましては、種類と数量を
愛知県医師連盟 052-251-2500まで
ご連絡ください。